

やさぎ 社協だより

No.136



● 令和4年度

社協のあらまし



各地区で作成された「支え愛マップ」の発表会です。

赤屋地区の生活支援協議体「あかやてごする会」で
支え愛マップづくりをされました。
地域を支えることは、まず地域を知ることからです。

令和4年5月発行

社会福祉法人 安来市社会福祉協議会

〒692-0014 安来市飯島町1240-13

電話 23-1855

<http://www.yasugishakyo.com/>

令和4年度

社協のあらまし

長期化する新型コロナウイルス感染症による影響は、私たちの生活や社会活動等に大きな影響を及ぼし、生活様式や社会秩序までも大きく変えてしまいました。

そうした中で、徐々にではありますが、アフターコロナについての話題も耳にするようになり、本会も事業の正常化に向けて、準備に入る時期が来たと考えます。

アフターコロナで、まず重点的に取り組まなければならないのが、活動の自粛等で、大きく沈滞した地域の活性化と考えます。

本会でも、安来市地域包括支援センターを中心にした、地域包括ケアシステムの整備や、生活支援体制整備事業による交流センター単位での「生活支援協議体」の設置などにより、地域資源の見直しや地域のみなさんの社会参加を促し、地域課題の解決と活性化に取り組んでまいります。

また、コロナ禍等で生活に支障がある方等に対し、引き続き本会の権利擁護センターや生活支援・相談センター等が、包括的に支援をしてまいります。特に、家計や住まいの課題を抱える方への、包括的支援体制の強化を重点的に図ります。

また、家族関係の希薄化や、認知症の増加により、成年後見制度への関心が高まる中、全国で成年後見制度の利用を支援し、促進する「中核機関」の設置が始まっていますが、本会も安来市からの委託で、権利擁護センターの機能をさらに強化し、中核機関として今後ますます増加する需要に対応できる体制と、職員の資質向上を図ります。

●生活に支援が

必要な方への事業

新型コロナウイルス感染症の影響等で、支援が必要になった方への相談支援について、安来市社会福祉法人連絡会と協力し、引き続き生活費の貸し付けやフードバンク事業等で、最優先に対応してまいります。

また、金銭の管理が不安な方には、日常生活自立支援事業で、その他ゴミ屋敷清掃支援事業、エンディングサポート事業、入居債務保証支援事業等、従来の寄り添い型の支援を継続してまいります。

●介護予防への取り組み

お年寄りに一日でも長く、元気で自分の家で暮らしていただくための「地域包括ケアシステム」の整備が進められていますが、そのためには、地域の協力と、本人の健康への意識改革が必要になります。

今年度も、ボランティアにより、

自治会単位で介護予防に取り組んでいただく「ミニサロン事業」や、

交流センター単位程度で同じく取り組んでいただく「ミニデイサービス事業」、また、地域包括支援センターによる「こけなからだ体操」の普及や、短期集中予防「通所型サービスク」の実施にも、強力に取り組んでまいります。

また、介護予防事業に携わっていただくボランティアスタッフを支援する「生活支援ボランティアポイント事業」も、引き続き実施していきます。

●ボランティアの育成

近年、水害など災害が多発していますが、災害からの復旧に欠かせないのがボランティアですが、地域活動の担い手や、地域包括ケアシステムの整備にも、なくてはならない存在になっています。

そこで、引き続き「マッチングシステム」を中心に、地域での互助システムの運用など行なってまいります。

令和4年度 地域福祉事業予算

(単位：千円)

事業名	予算額
法人運営事業	87,622
福祉サービス利用援助事業	5,445
地域福祉推進事業	1,256
寄付金会計事業	11,400
民生融金貸付事業	11,404
つどいの広場事業	9,550
共同募金配分金事業	14,629
高齢者生活福祉センター事業	16,465
権利擁護センター事業	4,614
ミニデイサービス事業	3,431
ボランティアセンター事業	300
ミニサロン事業	3,186
生活支援ボランティア事業	200
生活支援体制整備事業	12,883
高齢者生活ボランティアポイント事業	1,534
養育支援訪問事業	50
ファミリーサポートセンター事業	6,600

布部小のみなさんより、椿油の売り上げの一部を寄付いただきました。



● 青少年の健全育成事業

子どもの孤食解消や、地域のふれあいの場として、こども食堂の普及や、運営支援に努めます。

また、感染対策を徹底し、市内南城谷で開設している「親子交流センター」は、子育て世代の交流の場として、賑わっています。引き続きつどいの広場事業、ファミリーサポートセンター事業等も

令和4年度 介護保険事業予算

(単位：千円)

事業名	予算額
訪問介護事業	16,414
通所介護事業	63,248

令和4年度 公益事業予算

(単位：千円)

事業名	予算額
家計相談支援事業	5,400
生活支援事業	390
居宅介護支援事業	8,933
伯太老人福祉センター事業	687
生活困窮者自立支援事業	9,000
就労準備支援事業	1,820
地域包括支援センター事業	128,303
広瀬社会福祉センター特別会計	1,529
スパーク広瀬特別会計	1,510
広瀬町名誉町民顕彰館特別会計	740

● その他

その他、日本赤十字社島根県支部安来市地区への協力や、安来市共同募金委員会の運営、安来市身

実施してまいります。その他では、青少年育成協議会を通しての各地区への事業支援や、小中学校の福祉教室やボランティア体験事業への協力をしていきます。

体障害者福祉協会の事務局、安来市民生児童委員協議会の事務局など様々な事業を行ってまいります。以上の様に、今年度もたくさんの事業を予定していますので、みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。



社会福祉事業推進のため善意のご寄付ありがとうございました

《受付 令和4年2月1日～令和4年4月30日》

多くの市民の方々から安来市社会福祉協議会に多額のご寄付が寄せられました。ここに厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

一般寄付

寄付者氏名	金額
宮内町 守谷昌子様	金一封
安来市立布部小学校様	金一封
安来地区更生保護女性会 会長 山崎光恵様	金一封

寄付者氏名	金額
匿名 1名様	50,000円
匿名 3名様	金一封



香典返し

住所	寄付者氏名	金額	物故者名
安来町	角 久夫様	金一封	美登利様
清水町	黒田昌臣様	金一封	シズエ様
吉佐町	青山一広様	金一封	静雄様
柿谷町	三嶋重枝様	金一封	アツ子様
西谷	秀衡順様	金一封	トシエ様
飯生町	奈良晃宏様	金一封	百合子様
赤江町	池田尚之様	金一封	福夫様
宮内町	柳田克己様	金一封	俊枝様
切川町	安藤敏秀様	金一封	圭四郎様
荒島町	石原正樹様	金一封	鋼之助様
中津町	瀬尾修治様	金一封	喜美様
赤江町	近藤幸久様	金一封	幸一様
島田町	富田一志様	金一封	満枝様
飯梨町	中村八郎様	金一封	三八重様
愛知県	嶋田寛輝様	金一封	実松町: 充明様
荒島町	森脇重光様	金一封	西赤江町: 鶴枝様
南十神町	高木昌枝様	金一封	重行様
切川町	二岡秀男様	金一封	静枝様
飯島町	船原幸宏様	金一封	資功様
飯島町	矢田博美様	金一封	留子様
赤崎町	山本孝司様	金一封	シゲ子様
島田町	佐伯正史様	金一封	清様
荒島町	田辺修一様	金一封	一靖様
上坂田町	奈良井久夫様	金一封	シゲコ様
安来町	福間浩行様	金一封	万雄様
東京都	實重敏弘様	金一封	安来町: 弘志様
西赤江町	野澤晃様	金一封	喜美子様
中津町	矢田潤一郎様	金一封	幾野様

住所	寄付者氏名	金額	物故者名
安来町	富田嘉宏様	金一封	良水様
飯生町	板垣敷子様	金一封	充様
飯島町	佐藤和紀様	金一封	幹江様
野方町	石倉艶子様	金一封	孝様
宮内町	石原福江様	金一封	祥二様
大塚町	清水喜子様	金一封	宇賀町: 内田達郎様
米子市	鈴山文子様	金一封	切川町: 若槻清様
米子市	岸恵美子様	金一封	飯島町: 細トミ江様
赤江町	遠藤孝様	金一封	喜代美様
東京都	岩見敬治様	10,000円	広瀬: 和吉様
祖父谷	安達幸様	金一封	スミヨ様
宇波	山本充江様	金一封	禮次様
倉吉市	上田福美様	金一封	布部: 内田ヒデコ様
宇波	小林勝己様	金一封	良江様
布部	荒金穂高様	金一封	綾子様
宇波	細田光輝様	金一封	トキエ様
広瀬	清山修二様	金一封	美代子様
宇波	加藤良江様	金一封	宗治様
東比田	今村てる子様	金一封	原慎之介様
布部	永島一実様	金一封	茂亀様
上小竹	安野久仁彦様	金一封	由晃様
草野	久代義実様	金一封	満子様
東母里	田中玲子様	金一封	幸一様
安田	松岡晃宏様	金一封	下小竹: 俊宏様
須山福富	秦誠一様	金一封	真一様
東母里	田中浩一様	金一封	利浩様
上十年畑	千原徳浩様	金一封	宥之様

玉串料返し

住所	寄付者氏名	金額	物故者名
利弘町	二岡丈雄様	金一封	初美様
下山佐	宇山末夫様	金一封	喜美子様
上山佐	加納博様	金一封	明子様

寄付件数 66件

寄付金額 2,052,426円